

利根町教育委員会定例会会議録

令和 5 年 11 月 30 日 午後 3 時 00 分開会

1. 出席委員

教 育 長	海老澤 勤 君
教育長職務代理者	佐 藤 忠 信 君
委 員	石 井 豊 君
委 員	卷 島 久 君
委 員	川 上 有 香 君

1. 欠席委員

な し

1. 出席事務局職員

学校教育課長	中 村 寛 之 君
指 導 課 長	丹 晴 幸 君
生涯学習課長補佐	古 山 栄 一 君
学校教育課係長	吉 田 慎太郎 君

1. 議 事 日 程

議 事 日 程

令和 5 年 11 月 30 日（木曜日）

午後 3 時 00 分開会

日程第 1 報告第 28 号 利根町教育委員会後援名義の使用承認について
(令和 5 年 10 月分)

日程第 2 議案第 45 号 令和 5 年度利根町一般会計補正予算（第 4 号）教育関係予算の意見の申出について
議案第 46 号 令和 4 年度教育委員会事務の点検評価報告書について

日程第 3 その他

1. 本日の会議に付した事件

日程第 1 報告第 28 号 利根町教育委員会後援名義の使用承認について
(令和 5 年 10 月分)

日程第 2 議案第 45 号 令和 5 年度利根町一般会計補正予算(第 5 号)教育関係
予算の意見の申出について

議案第 46 号 令和 4 年度教育委員会事務の点検評価報告書について

午後 3 時 00 分開会

○教育長(海老澤 勤君) ただいまより令和 5 年 11 月の教育委員会定例会を開催いたします。今日ご審議いただく議案は、報告 1 件、議案 2 件でございます。

議題に入ります前に、議案第 45 号、令和 5 年度利根町一般会計補正予算第 5 号、教育関係予算の意見の申出について、につきましては、令和 5 年第 4 回議会定例会で審議を予定している案件であり、町長の公正円滑な町政執行を確保する観点から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、第 10 条第 7 項のただし書きに基づき、非公開にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ声あり〕

○教育長(海老澤 勤君) ただいまご承認いただきましたので、議案第 45 号を非公開といたします。

日程第 1、報告第 28 号、利根町教育委員会後援名義の使用承認について、令和 5 年 10 月分を議題といたします。担当課に説明を求めます。

○生涯学習課(古山栄一君) 生涯学習課の古山です。よろしくお願いいたします。それではご説明させていただきます。

報告第 28 号の利根町教育委員会、後援名義の使用承認について、でございます。令和 5 年の 10 月分については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 25 条第 3 項及び利根町教育委員会事務委任規則第 4 条第 2 項の規定により報告するもので、1 件の申請があり、承認をしたものでございます。

資料 2 枚目の方の資料をご覧ください。それでは生涯学習課の管轄分としまして 1 件の内容についてご説明をさせていただきます。

利根町文化協会から申請がありまして、11 月の 3 日金曜日の祝日から 4 日の土曜日の 2 日間にわたりまして、第 37 回利根町文化祭が利根町文化センター及び利根町の保健福祉センターの方で開催されました。開催目的としましては、第 37 回の利根町文化祭で、芸術や芸能発表を行いまして、文化祭の開催による町民の文化芸術への意識を高め、うるおいあるまちづくりに寄与する目的で開催をしております。対象者は利根町文化協会会員に

なります。生涯学習課の説明は以上でございます。

○教育長（海老澤 勤君） はい。説明が終わりました。ご意見ご質問等ございますか。
はい。佐藤委員。

○委員（佐藤 忠信君） はい。文化祭も大分長くやられてると思うんですが、私も娘のちっちゃい頃にですね、踊りの方で参加させてもらいました。その当時は、卒をみんなで、どこを取るかという会議が、やっぱり活発に行われたんですが、だんだん高齢化に伴って、その会の方々もちょっと減ってきているんじゃないかなという印象を受けたんですが。それでもやはり盛会に終わったような形でしょうかね。

○生涯学習課（古山 栄一君） プログラムを見ますと、1 番から 20 番までいろいろな団体ございまして、これ多目的ホールだけなのですが、いろいろな発表、文化、コーラスとかですね、いろいろそういったダンスなど、20 団体ぐらいたってですね、3 日だけでですね、合わせて文化センターの方でいろいろな会議室や応接室で今までの芸術部門の展示なども多く、こちらで 12, 13 団体だったり、あわせて保健福祉センターの方でも 10 団体ぐらいたって展示などいろいろやっておりますので、盛会に開催できたなと思っているところでございます。高齢者化ということもあるのですけども。

○委員（佐藤 忠信君） はい。以前、県内でも利根町は有数の高齢の方々が元気なまちづくりということで、まだまだ健在という形ですね。はい。ありがとうございました。

○教育長（海老澤 勤君） はい。中村課長。

○学校教育課長（中村 寛之君） 地場産業フェスティバルを 11 月 3 日にやっております、その時は外にも結構来しております。それと、人気の芸術発表のグループとかもありまして、そういう時には結構来てくださったというところでその文化部門の方の発表が 3 日だけで、確かに 4 日の日は少なくなったというところはあるのですけども、全体ではすごい集まったと思います。

○委員（佐藤 忠信君） わかりました。

○教育長（海老澤 勤君） ステージ発表は 3 日だけだったんだ。

○生涯学習課（古山 栄一君） はい。多目的ホールの方で 20 のプログラムがありまして、カラオケとかコーラスなど行っておりました。

○教育長（海老澤 勤君） 他にご意見ご質問等は、はい、石井委員。

○委員（石井 豊君） 申請団体が利根町文化協会ってなっているのですけど、これ実行委員会で文化祭を行っているわけじゃなくて、以前はそうだったような気がしたのですけど、確か補助金も出るんじゃないかと思うのですけどそれが文化祭の実行委員会を出している記憶があるんですが。

○学校教育課長（中村 寛之君） その件については、おっしゃる通り、最初は、体育協会、文化協会、両方に補助金を出して、実行委員会の方に補助金を渡したという形なのですが、今現状はもうその辺も終わって、あとは自分たちで活動するということで、今は補助金自体がもうなくなっている状況です。ただ、プログラムの作成とか、協力できる

面は文化センターの方で協力して今やっているということで、今はちょっと前と形が変わりました。

○委員（石井 豊君） あくまで文化協会は主催ってということですか。

○学校教育課長（中村 寛之君） はい。ただお年寄りの方が多いんで。みんなでパネルとか、そういったものを全部運んだりとか、そういうお手伝いは生涯学習課の方でやっております。

○委員（石井 豊君） 形になるまでということですかね。

○学校教育課長（中村 寛之君） はい。違う課で言えば、生活環境課の方でゴミを集める工具のようなものですか、そういうものにも補助金を出してたのですが、そういったものももう普及したんだろうということで出さなくなったりだとか、やはりそこまでの間を補助するのが補助金ということで、町の方もやるべきところはやると。

○委員（石井 豊君） 補助金出したらそこで運営してもらうのが、原理原則というか、そこで町がね、例えば車とか用意するのあれかもしれないですけど、あくまで主体的なものを補助金出していればそちらで、役場は細かいところというか、大枠は関知しないというような感じだと。はい。わかりました。ありがとうございます。

○教育長（海老澤 勤君） はい。他にいかがですか。よろしいですか。はい。

それでは、報告第 28 号、利根町教育委員会、後援名義の使用承認について、令和 5 年 10 月分につきましては、原案の通り承認いたします。

続きまして、日程第 2、議案第 45 号、令和 5 年度利根町一般会計補正予算第 5 号、教育関係予算の意見の申出についてを、議題といたします。担当課長に説明を求めます。

はい。中村課長。

（「非公開」により省略）

○教育長（海老澤 勤君） はい。説明が終わりました。ご意見ご質問等ございますか。

（「非公開」により省略）

○教育長（海老澤 勤君） その他ご意見ご質問等ありますか。よろしいですか。はい。では、議案第 45 号、令和 5 年度利根町一般会計補正予算第 5 号、教育関係予算の意見の申し出について、につきましては原案の通り承認いたします。

続きまして日程第 3、令和 4 年度教育委員会事務の点検評価報告書について、を議題といたします。担当課長に説明を求めます。

○学校教育課長（中村 寛之君） はい。それでは、議案第 46 号、令和 4 年度教育委員会事務の点検評価報告書についてをご説明いたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項及び利根町教育委員会事務委

任規則第 2 条第 6 項の規定により提案するものでございます。参考資料の 162 ページを開きください。

点検評価委員の意見についてをご覧ください。令和 4 年度分の教育委員会事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価にあたり、客観性を確保するため、学識経験を有する点検評価委員 2 名からご意見をいただきました。会合は 2 回開催し、令和 5 年 11 月 7 日には、教育委員会の各課より点検評価委員へ事業評価シートに基づいて事業の説明を行い、11 月 17 日には、点検評価委員からいただいたご意見をまとめました。なお、事業評価シートの自己評価等につきましては、各担当課で作成し、政策企画課へ提出したものでございますので、説明は割愛させていただきます。

点検評価委員からのご意見は 3、主な意見以降に記載しております。改善を望むご意見につきましては、黒丸で表記しております。また、括弧書きで担当課を表記してございます。主なご意見につきまして、黒丸の改善を望むご意見について、ご報告をさせていただき、その他の意見につきましては、本日は割愛させていただきます。163 ページをお願いいたします。

まず(1)全体に関する意見における改善を望む意見といたしまして、社会の変化が厳しい時代であって、各事業の現状維持は、必然的に後退となる。これが全事業に対する基本的な心構えとして必要である。今後の方向性が、現状維持と評価している事業についても、何か改善できないか、検討することを怠らないで欲しい。とのご意見をいただきました。各課には、次回の事業評価シート作成時には注意していただきたいと思います。

次に、(2)各施策に関する意見につきましては、基本施策 2、特色ある学校教育の推進の 5、義務教育の充実の中で、学校図書館の図書の充実をさらに進めていただきたい。また、学校図書館司書にも授業に参加してもらい、読書の喜び図書の選び方、新刊書の紹介などをお願いしたいといったご意見をいただきました。これにつきましては、現状も学校の方で、学校司書の方にはこういった授業をやっていたいただいております。164 ページをお願いします。

また、算数数学の学力向上に向け、一層の努力が必要とのことで、非常勤講師を配置された点については評価できる。複数の教師による TT 指導は、ともに主たる指導者であり、ともに力を合わせて指導に当たることを自覚することが大切。一方が補助的な役割といった主従の考え方や対応ではなく、1+1 が 2 より大きくなる指導のあり方の工夫、改善を期待したいといったご意見や、部活動の地域移行に向けて、各指導者に対して、町単独、或いは市町村共済等で適切な指導方法について啓発する研修会を設けていただきたい。絶対に体罰、パワハラなどはあってはならない。科学的な指導方法が求められているというご意見、特別に支援を要するような児童生徒の対応については、なかなか良い方向に進展が見られない場合は、多くのケースを扱っている県教委の専門研究員の活用を進めていただきたい。特別支援教育研修会は特別支援学校教諭だけではなく、専門の研究員をぜひ活用していただきたいとのご意見をいただきました。165 ページをお願いします。

また、基本施策 3、学びやすい生涯学習環境の整備の中の 8、地域の特性を生かした生涯学習事業の推進におきまして、教育の基本は家庭教育にある家庭教育セミナーは、保護者にとって、参加してよかったと思えるような、お土産を持って帰れるような研修にしていきたい。一方で、保護者の多くが職業に就かれている状況なので、多数の参加を求めるのは難しいのではないかとと思われるため、これを踏まえて、参加者が少数でも回数を重ねることで啓発を進めること。また、特別に有名な方でなくても、中身が充実したものであればよいと考える。さらに、講話の内容をコンパクトにまとめたものを、開催する保護者に配布するような仕組みがあるとよい。タイムリーに家庭教育ワンポイントをリーフレットのような形でまとめて、保護者に配布する、学校のホームページに載せるなどの方法も考えられるといったご意見や、英語教育事業の取り組みとして、長期休業休暇などに家庭英会話週間のような期間を設けるなどして、簡単な日常の英会話を実施するよう、家庭の協力を求めているかどうか、また、簡単な英会話の内容をまとめたパンフレットの配布や商店などでの英語表記などを進めるなど、工夫があるとよいのではないかと考えるのご意見、また、子供体験事業の推進について、学校では体験できない事業であり、5 つの教室で終わるのではなく、今後の方向性としてぜひ拡大していきたいといったご意見。166 ページをお願いします。

子供自然体験交流事業について、婦恋村での交流や天体観測など、継続的に実施してもらいたい。この事業も現状維持ではなく、現地気候のことや、特産物、歴史、地形などを事前に調べたりする学習を入れるなど、良い方向に改善して欲しいとのご意見をいただきました。次に、9 生涯学習環境の整備充実では、図書館図書さらなる充実と、より多くの町民に活用してもらえよう、さらに啓発、工夫が必要と考える。とのご意見をいただきました。点検評価委員の意見の報告につきましては以上でございます。

なお、事業評価シートにつきましては、すでに政策企画課に提出し、決定したものでございますので、今回この場で修正等はできませんのでご了承願います。点検評価報告書は、町長及び町議会議員へ提出し、町のホームページで交付をしたいので、教育委員会の議案として提案しております。今後は、点検評価委員からいただいたご意見を踏まえて、事業実施して参ります。説明は以上でございます。

○教育長（海老澤 勤君） 説明が終わりました。ご意見ご質問等ございますか。はい。巻島委員。

○委員（巻島 久君） この評価に対してどうのではなく、関連としてちょっと確認したいことが何点かありますので。まず 54 ページの今後の方向性のところ、最後の四角で囲んであるところですね、改善ってところの中学校対外試合補助金。ここの最後の今後の方向性のところを見ると、部活動に要する、様々な経費は、生徒の保護者負担が原則だが、と書いてあってこういろいろ書いてありますけれども、新人戦や総合体育大会の群の予選などの公式戦と言ったらおかしいですけども、公の大会の輸送費は、公費から出ているということなんでしょうけれども、そうじゃないものは、学校によっていろいろでし

ょうけど、講演会費とか、育成会費とかという名目で、保護者から月ごとに集金して、それでいろいろ練習試合とか、そういうものに充ててるんじゃないかと思うんですけども、まず一つは、公式な大会の輸送に関わる費用は町から出ているっていうことでよろしいでしょうか。

○教育長（海老澤 勤君） はい。中村課長。

○学校教育課長（中村 寛之君） はい。学校側の方から対外試合の補助金ということで、町の方で 300 万円計上しているのですが、その際に、学校の申請でこの大会、この大会で合計で 300 万ちょっとという形で申請がきてるのですが、それについては町から 300 万補助を出しております。

ただそれがその公式戦なのか練習試合か、ほとんどが見る限りは公式戦だと思うのですが、そういったものに対してはバス代として町から 300 万の補助を出しています。

決算書、前年度の決算書を見ると、約 30 万円くらいが足りなくて学校の方でちょっとどういうお金なのかこちらではわからないんですけど、集めたお金なのか PTA のお金なのか、そういった形のものを払って合計で約 330 万となっております。

その他の芸術鑑賞などに関しては、小学校中学校に 20 万ずつ補助金として予算を取ってありまして、その中でやるか、もしくはそれ以上かかった場合は、やっぱり同じように学校の方でお金を集めたお金があって、それに対応していただいている。補助金についてはその 2 つになります。

はい。

○委員（巻島 久君） 以前ですね、教頭時代に、利根町は手厚くお金が出ていて、試合とかそういう輸送に関して、取手地区はもうちょっと出ないのかなんていうことで、学校教育課の担当の方といろいろ、話をしたりして、全国大会とか関東大会に進んだ時には、多額のお金がかかるので、全額とは言わないけれども半額を市の方から出ないだろうかとか、いろいろ交渉した覚えがあるんですけども。保護者が負担している、そういう講演会費みたいなものは、学校教育課として把握してはいないということですね。学校の校長先生にお任せして。

○教育長（海老澤 勤君） よろしいですか。今から 10 年前になりますか、私利根中に勤めたんですけど、その時も 300 万円の部活動の補助金、対外試合補助金として頂戴しました。さらに、利根中学校の学校後援会という組織がありまして、そこからも多額な予算を使わせていただきました。ただいまは、その後援会はないように見えるんですね。ですから、多分、もし足りない場合には 300 万プラス PTA あたりの補助からバス代としては出ているんじゃないかなと思います。ただ、これから部活動と地域クラブ活動ですか、スポかるとね。

そういったところでの活動で大会参加は、課題になってくると思います。

もう一つ、生涯学習課管轄で予選を伴う全国大会出場の個人には報奨金として 2 万円。あるいはチームとして予選を勝ち抜いて全国へ、という場合には 10 万円という報奨制度

はございます。

○委員（巻島 久君） 町の規模からして子供たちに支援している額が、すごいなと思ってですね、例えばさっき教育長先生おっしゃいましたけど、10 年近く前と今とでは、物価も違う、バス代などの物価も違うし、予算などの収入、町に入ってくる予算などの収入がもう違うと思うんですけれども。そういった中でももうずっと 300 万円補助してるっていうのはすごいなと思ってね。だから、何か機会があったときには、さっき後援会費の話ちょっとしましたけれども、保護者にあまり負担を求めてないのは、町からこういうこれだけの補助をしているから、それが成立しているんだっていうようなことを、少しね PR してもいいんじゃないかと思うくらい、利根町は子供たちのためにですね、随分支援してるんだなっていうふうに思いました。ですから、何かの機会にですね、町がそういうふうに、子供たちのために、熱心に取り組んでいるってことを PR してもいいんじゃないかなと思いました。

○教育長（海老澤 勤君） 今、巻島委員からお話がありました。部活動の公式戦ですか、総体と新人戦、確かに利根町は旧北相馬の取手市と一緒にって県南の上位の大会を目指しているわけなんですけども、バス 1 台にね、何人も生徒さんが乗らずにいくような場面も私も見かけたんですよ。それはおかしいだろうと。取手市は、1 台のバスであちこち会場を寄りながらいろんな部活動の子供たちの乗り降りをしている。そういうふうに次から変えてもらいました、利根中でも、やはり 1 台のバス、公費を使っていつてるわけだから、有効に効率よく子供たちの輸送をしましょうと。多少の待ち時間があってもね。そういう形で、貴重な財源 300 万円を使わせてもらった記憶がございます。

○委員（巻島 久君） 子供たちは本当に恵まれてると思います。取手市で、変な話ですけども、大利根の交通の乗り合いバスをレンタルして、中学生子供なので、大人の 3 分の 2 扱いということで、60 何人も吊革につかまって、椅子じゃないですよ。乗り合いバスです。

うん。60 何人乗せてピストンで、会場を往復したりするので、第一陣はものすごい早く出たりして、お金ないけどやりくりしてたっていう記憶があるんですよ。そういうことから見ると、もう利根町はそういうことはなくてですね、本当によくやっていただいているなと思って感謝しています。

あともう 1 点、60 ページに、最後のところ、3 行目、教職員のメンタルヘルス不調を未然に防ぐため、学校規模にかかわらず、ストレスチェックを行い、と書いてあって、その他云々と書いてあるんですけど、これは是非ですね、積極的にずっと続けていただきたいと思います。積極的につていうのは、校長先生などもかなり危機意識を持ってですね、職員のことを見守るというふうにして、例えば、これ年 1 回やっているならば、年 2 回やるようにするとかですね、または 1 回目ストレスチェックやった後、その後どう変化するかを見る機会を設けるとかですね、この辺をもうちょっと学校も、学校の校長先生方も、それから、我々関係者も、ぜひともですね、今後、積極的にどんどん進めていって

ただければと願っています。というのは、正確なデータを取ったわけではないですが、学校数と同じくらい療休者の数があるなんていう噂ですけども、でも逆に言うと、一つの学校に1人ぐらいい療休者がいて、校長先生は1人療休者を抱えると、その代わりの先生を見つけるとか、復帰計画を立てるとか、大変なんですよ。お医者さんと2回ぐらいい面談して現在の様子を知るとかですね。校長先生も大変で、後追いのようになっちゃってるんですね、療休者が出てから大変だ大変だ、代わりの人を探すしかない。こういうチェックを入念にすると、療休取得が未然に防げる。また療休に入っても予想してれば、代わりの先生を早めにリストアップしておいて選べるなんていうことにもなるので。是非ストレスチェックをはじめ、各先生方の健康状態を見極めることは積極的に続けていっていただければありがたいなと思います。

○教育長（海老澤 勤君） はい。中村課長。

○学校教育課長（中村 寛之君） はい。巻島委員言われた通り、今後も継続的にやって、2回という話出しましたが、これについても、ちょっと話し合いで、すぐできるっていうことではちょっとないのかなと。役場職員も年1回でやっておりまして、それで通常自分に返ってくるだけで、そこで悪かった人は総務課の方に情報が上がってくんでしょうけど、通常くらいのレベルの人は自分に返ってくるのみの状況ですので、そういった意味でそのストレスが相当溜まってるといえるようなところあれば、継続というのは必要だと思いますので、その辺も含めて、また来年度の予算、来年度予算はもう今年度に予算を提出しておりますので、再来年度の予算ですね、その辺はちょっと話し合いをしていきたいと思います。

○教育長（海老澤 勤君） はい。結構なんですけど、今のところの令和4年度の実績として、委託料としてね、額が下がっているように見えるんですけど。

○学校教育課長（中村 寛之君） これについては、業者を変えたことによってすごく安価になったったというところなんです。サービスが減ったとかではなくて、安く取り扱っている業者さんがいたんです。

○教育長（海老澤 勤君） 人数が減ったわけではということ。

○学校教育課長（中村 寛之君） はい。

○教育長（海老澤 勤君） わかりました。そのほかいかがでしょうか。はい。川上委員。

○委員（川上 有香君） 家庭教育セミナーについて、165ページ。前はこけ玉作りをさせていただいて、その前はハーバリウムを作らせていただいて、とてもいつも内容が面白くていいなと思ってんですけど、いつも大体、同じようなメンバーが、10人いないぐらいいの参加になっていて、内容がとってもいいのに、何かもったいないかなと思ひまして、おそらく4月とかそういう早い段階で、お手紙が1回だけ来るような感じだと思うんですけど、あんまり周知されてないのかなあと思ひまして、もうちょっと、内容がすごくいいので、みんなに周知してもらえるといいかなと。他のお母さんたちとの交流の場になりますし、講師の先生もみんないつもとってもいい方々なので、今の感じだともったいないか

ななんて思いました。

○教育長（海老澤 勤君） ありがとうございます。古山補佐。

○生涯学習課（古山 栄一君） ありがとうございます。引き続き、広くですね、周知の方もまた工夫しながら、ちょっとできるだけ多くの皆さんに参加してもらえるように、周知の方もしたいと思っております。ご意見ありがとうございます。

○教育長（海老澤 勤君） 例年参加が少ないっていうのは課題として認識してるんですが、お母さん方の子育ての横の繋がりがあっていうんでしょうかね。今、川上委員さんがおっしゃってくれました。子育てだけに特化した研修会っていうことではなくて、お母さんの趣味や、実益を兼ねた会というような位置付けで、一年生の保護者さんは半強制的に入ってもらって、2 年から 6 年のお子さん、保護者さんには、希望で参加というような方向で、新年度から進めようかという計画でおります。また、予算的にも多少上乘せ可能なのか、その辺はちょっとわからないのですが、何らかの改善をしていきたいなと思います。他にいかがでしょう。はい。中村学校教育課長。

○学校教育課長（中村 寛之君） 就学時健診っていうものが一年生でありまして、その時にもお母さん方に、家庭セミナー、龍ヶ崎の方から先生をお呼びして、そこで説明してもらいましたので、またそういう、貴重な意見いただきましたので、今後啓発して、増やしていきたいと思います。

○教育長（海老澤 勤君） はい。他にいかがでしょうか。はい、佐藤委員。

○委員（佐藤 忠信君） この 165 ページの基本施策 3 と下から 2 つ目の黒丸、英語教室事業の取り組みということで、商店などでの英語表記などを進めるみたいな書いてあるんですが、これはまた教育委員会と、今度総務課なのか経済課なのか、そちらでタッグを組むような感じになるんでしょうか。

○教育長（海老澤 勤君） はい。中村課長。

○学校教育課長（中村 寛之君） これについてはそういうふうにしたほうがいいということで委員さんの方からからいただいたんですけど、できることとできないこともあるので、貴重な意見だとはこちらも思ってるんですけど、ちょっと現状では商工会の方とそういう相談はちょっと難しいのかなと思います。ただ、できるものについて、各担当課長からこういうことでやっていますと回答したのはあるんですけど、これにつきましては、商工会と相談してそれをやりますってことはちょっと難しいと思うので、啓発と、あとは英語教室は生涯学習課の方で、生涯学習センターの方でやっておりますんで、その中でいろいろ今メニューを考えてやっておりますので、児童クラブの方へ行行って、派遣してやつたりして人数増やしてますんで、そういったところでちょっとどんどんやっていきたいと思いまので、これについてはちょっと難しいところあるのかなと。

はい。

○委員（佐藤 忠信君） この上にある、英会話の内容をまとめたパンフレットとか配布とかそういう措置はできると。

○学校教育課長（中村 寛之君） はい。

○委員（佐藤 忠信君） やっぱり語学，私も仕事で国際交流以前していたことがあります。どうしても学校の勉強，いい点数を取ると，その時は本当に覚えてるんですね。でもやはり使わなくなると，人って忘れてしまうというのがあって，これ英語に限らず，地理とか歴史とかもすべてこれ当てはまるんですが，特に語学の使う脳が，欧米型の脳と日本の脳が，また別な脳になりますので，なかなか定着するは難しいということがあって。普段この実生活からできないかなと思って，今この商店はいいなと思ってちょっと見てたんですが，なかなか厳しいということですかね。

○学校教育課長（中村 寛之君） 委員さんの意見の中で，現状維持というのは後退であるというのは，これ，私たちにとっては結構厳しいところがあるんですよ。現状維持は，見る方からするとそういう見方は確かにあると思うので，なるべく現状維持はなく，少しでも上がるような形で進めてはいきたいって考えております。このご意見に集約されているのかなと私は思っています。

○教育長（海老澤 勤君） 他にいかがですか。よろしいですか

〔「はい」と呼ぶ声あり〕

○教育長（海老澤 勤君） ないようですので，これで令和 5 年 11 月の教育委員会定例会を閉会といたします。
ありがとうございました。

午後 4 時 01 分閉会